

## 袖ヶ浦ボーイズ優勝

### 習志野市少年野球夏季大会

習志野市少年野球連盟主催の第54回習志野市少年野球夏季大会が7月17日から29日まで第一カッター球場ほかで開催された。

開会式には15チームが参加。選手を代表して向山ファイターズの田中通馬主将が「このグラウンドで大好きな野球ができることに感謝し、ともに練習してきた仲間たちの思いを胸に、支えてくれたすべての方々に感謝して、最後の最後まであきらめず全力でプレーすることを誓います」と元気に宣誓した。

大会では連日にわたる熱戦の結果、袖ヶ浦ボーイズが12年ぶりに優勝を果たした。



優勝の袖ヶ浦ボーイズ



準優勝の実花レジェンド



第3位の向山ファイターズA



第3位の大久保フロッグス

大会には習志野ライオンズクラブ、習志野中央ライオンズクラブ、習志野ロータリークラブ、習志野中央ロータリークラブが協力。活躍を称え、上位4チームには習志野ライオンズクラブからトロフィーが、優秀選手には習志野中央ライオンズクラブから楯が贈られた。

大会結果は次の通り。

| ▽1回戦      | ならしの | 実況クラ  |
|-----------|------|-------|
| 向山ファイターズA | 12-4 | ブ     |
| 袖ヶ浦ボーイズ   | 9-4  | 習志野フェ |
| 鷲沼マリ      | 7-2  | 習志野フェ |
| 大久保フロッグス  | 10-3 | 谷津サザ  |
| 実花レジェンド   | 3-1  | ナミ    |

▽2回戦

|           |      |          |
|-----------|------|----------|
| 向山ファイターズA | 11-3 | ならしの     |
| 袖ヶ浦ボーイズ   | 4-3  | 鷲沼マリ     |
| 大久保フロッグス  | 11-3 | 津田沼少年野球団 |
| 実花レジェンド   | 18-2 | 藤崎シークレット |

▽準決勝戦

|           |     |     |   |   |   |   |   |   |
|-----------|-----|-----|---|---|---|---|---|---|
| 袖ヶ浦ボーイズ   | 3-3 | 1-0 | 1 | 8 |   |   |   |   |
| 向山ファイターズA | 3   | 1   | 1 | 2 | 0 | 7 |   |   |
| 実花レジェンド   | 0   | 1   | 0 | 1 | 3 | 0 | 2 | 7 |
| 大久保フロッグス  | 1   | 0   | 1 | 0 | 3 | 0 | 2 | 5 |

▽決勝戦

|         |   |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|---|
| 袖ヶ浦ボーイズ | 4 | 1 | 0 | 1 | 1 | 7 |
| 実花レジェンド | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 6 |

【後記】 決勝戦は袖ヶ浦ボーイズと実花レジェンドとの顔合わせとなった。準決勝戦、袖ヶ浦は4回、向山ファイターズに同点に追いつかれたが、最終5回表の勝ち越し本塁打で勝負を決めた。

実花は大久保フロッグスと対戦。5-5の同点で6回を終了し、特別延長戦に入る。7回は向チーム2点ずつで同点は変わらず。8回、実花は7点を奪って勝利した。

決勝戦、先攻の袖ヶ浦は初回、先頭の矢崎が中前安打。2番山本、3番上野はともに四球で満塁。6番大貫の右中間適時打で矢崎、山本がかえり2点。走者二、三塁に7番馬籠の三塁線への安打で上野がかえり、8番井上の打席、悪投球で大貫がかえりこの回4点を先制する。その回裏、実花は1番海老根が内野安打、2番井口が四球。海老根は盗塁死だが、4番筒井の右中間本塁打で2点を返す。2回表、袖ヶ浦は先頭の矢崎が死球、盗塁。山本の内野ゴロはエラーとなり、矢崎は三塁に達し、悪投球でかえり1点を加え、5-2と袖ヶ浦がリードする。

実花の反撃は3回裏、先



最終回の攻防

頭の9番松本は死球、ボークで二塁へ。井口、3番中原は連続四球で一死走者満塁の場面に筒井の左越三塁打で3点を奪い同点に。5番高澤は四球で走者一、三塁。6番五十嵐の内野ゴロの間に筒井がかえり6-5と逆転する。だが、4回表の袖ヶ浦は上野がエラーで出塁。二死となるが牽制エラーで二塁へ。ここで5番江口の中越三塁打で同点とする。さらに5回表、先頭の馬籠が三塁打と悪投球でかえり、袖ヶ浦は7-6と逆転。その回裏、実花は先頭の井口が中前安打で出塁。筒井は四球で、一死走者一、二塁から重盤で二、三塁と好機を得るが、袖ヶ浦継投の矢崎に後続を断ち切れ、反撃はならなかった。

決勝戦は袖ヶ浦ボーイズと津田沼少年野球団Aが対戦した。試合は袖ヶ浦ボーイズが1-0で勝利。14年ぶり10回目の優勝を飾った。

最優秀選手賞には主将の三橋大將、最優秀打撃賞には2回に決勝打となる本塁打を放った舩屋直樹の両選手が選ばれた。

袖ヶ浦ボーイズの矢崎大詞キャプテンは「いままで夏季大会優勝を目標にがんばってきたので、その努力の成果が最後に出たのだと思います。準決勝戦、決勝戦と続き、みんな疲れてはいましたが、チーム一人ひとりの心が一つになり、全員で勝ち取った勝利だと自分では考えています。応援して下さいませ」と話した。